

営繕事業の事業評価(事後評価)



平成16年12月

中国地方整備局営繕部

対象施設の概要

久世税務署（官庁営繕費）

完成：平成13年度（H14.3）

敷地：おかやまけん まにわぐん くせちょう なべや岡山県真庭郡久世町鍋屋8 - 1

構造：鉄筋コンクリート造2階建て

規模：1,255m²

総事業費：約4億3千万円

事後評価の時期

官庁営繕事業では

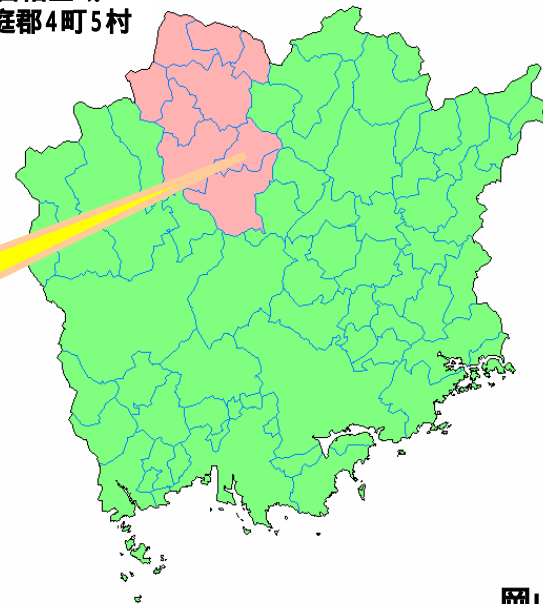
事業完了後一定期間は

2年経過後(3年目実施)

施設の位置



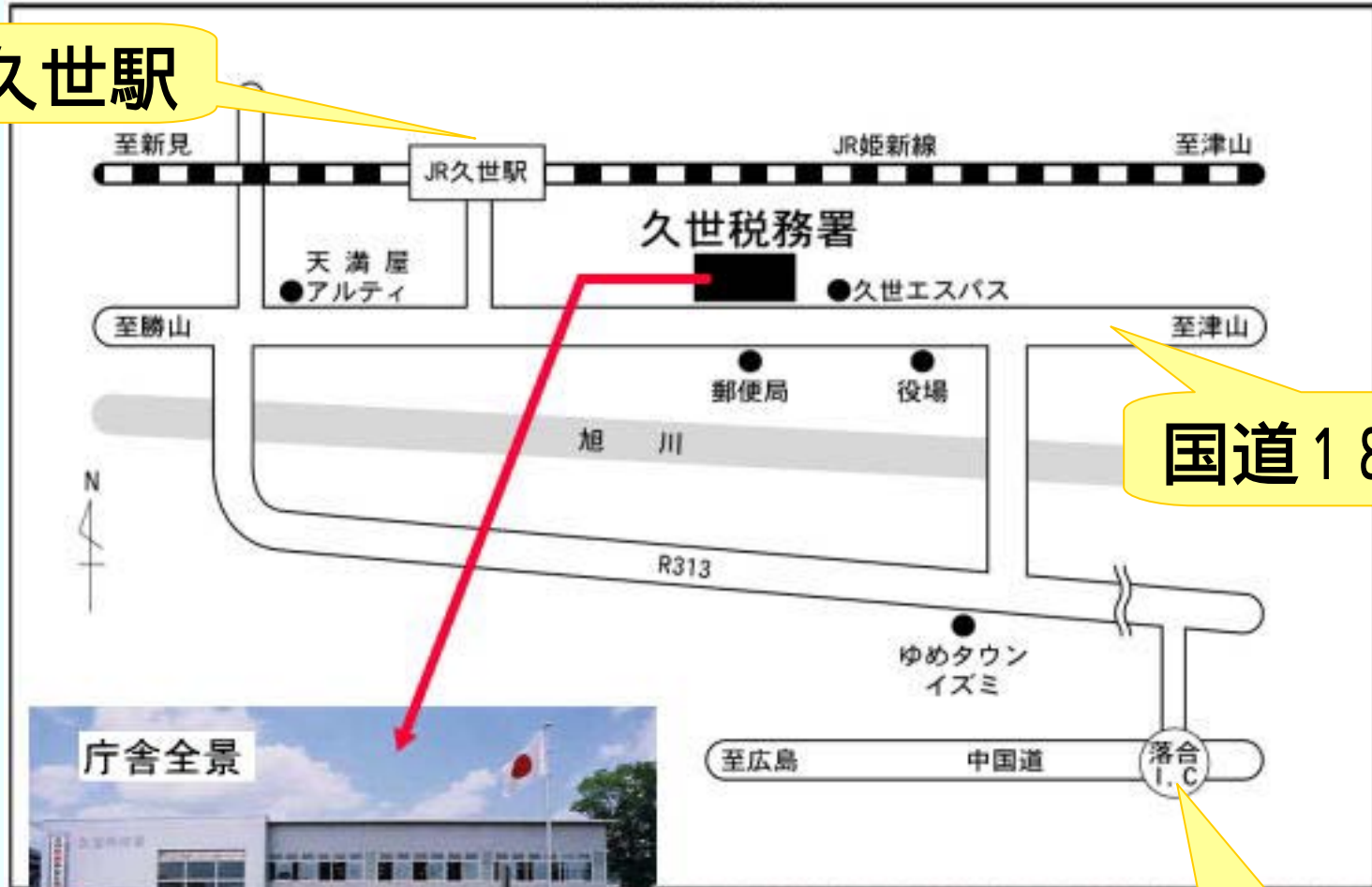
管轄区域
真庭郡4町5村



久世税務署

施設の位置

JR久世駅



国道181号



中国道落合I.C

事後評価方法

■ 事業の妥当性

- * 事業の緊急性
- * 計画の妥当性

■ 事業の効果の発現状況

- * 定量的評価 費用対効果 (B / C) の確認
- * 定性的評価 利用者・職員アンケート

■ 事業実施による環境の変化

■ 社会経済情勢の変化

各種状況の変化 等

事業の妥当性

事業の緊急性 昭和36年建設

老朽 現存率 49% 100%

狭あい 面積率 0.65 (511m² 1,255m²)

駐車場の不足

外来用 5台 11台

計画の妥当性

現地建て替えによる計画のため、用地取得が不要
でありアクセスも確保されている

久世町内に他の官署が無いため、単独での整備

敷地状況（旧）

* 老朽
狭あい
施設の不備

敷地：約 1,492 m²

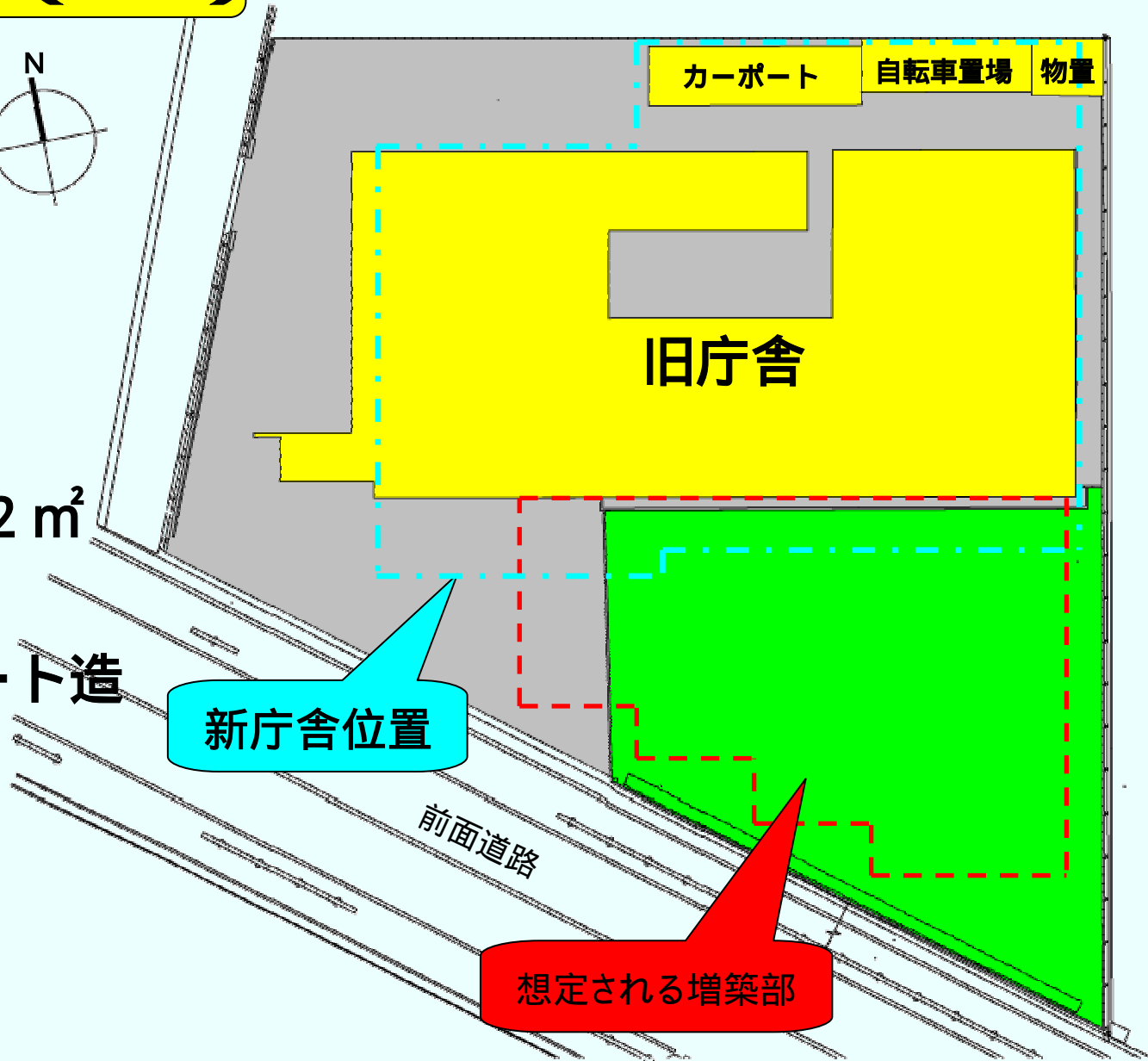
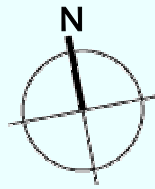
庁舎：

鉄筋コンクリート造

平屋建て

511 m²

駐車台数：5台

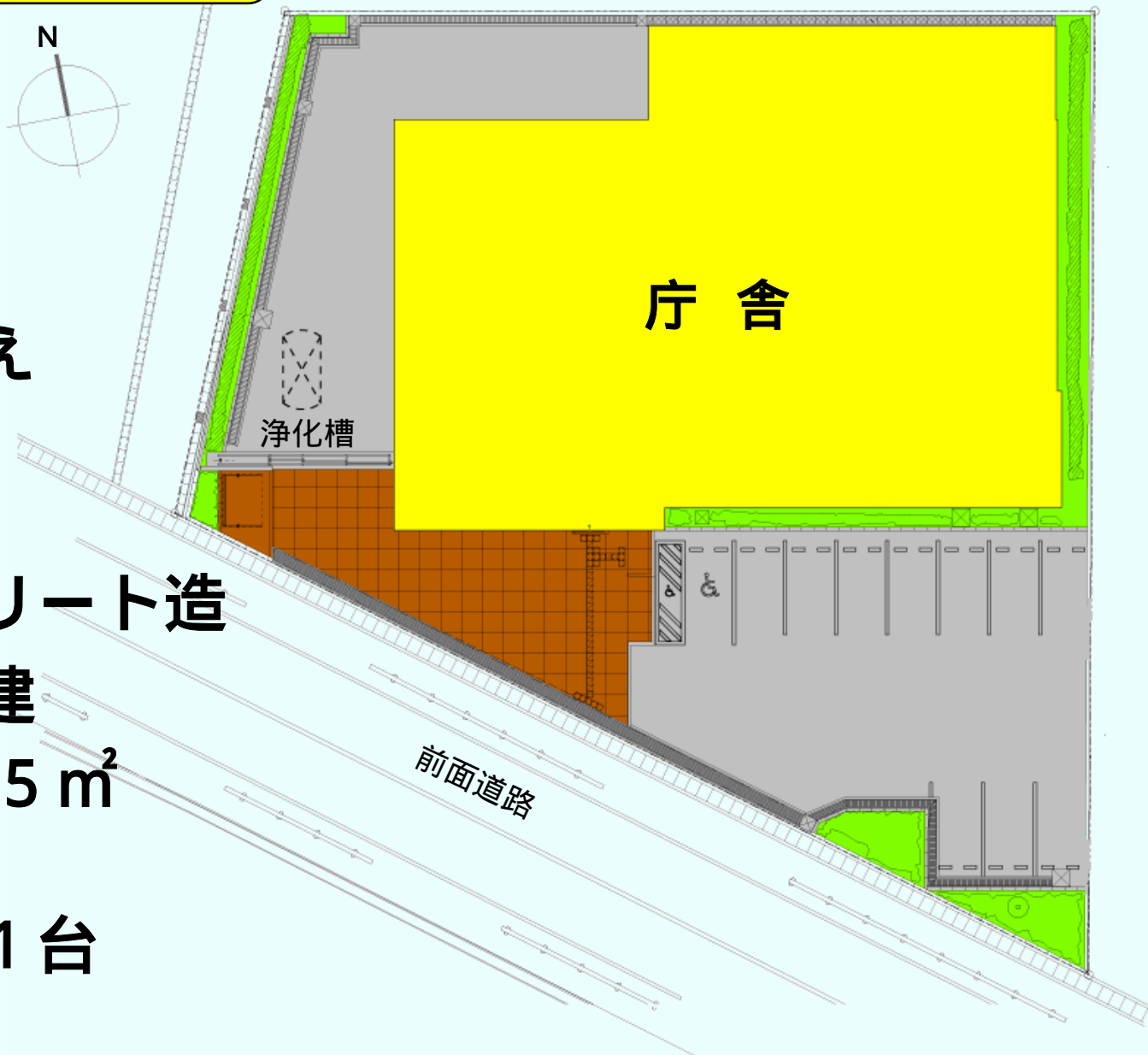


敷地状況（新）

敷地：
現地建て替え

庁舎：
鉄筋コンクリート造
地上2階建
約1,255^m²

駐車台数：11台



新旧比較写真

敷地：約1,492 m^2

庁舎：RC - 1

511 m^2

計画理由：

老朽、狭あいなど



旧庁舎（平成12年撮影）



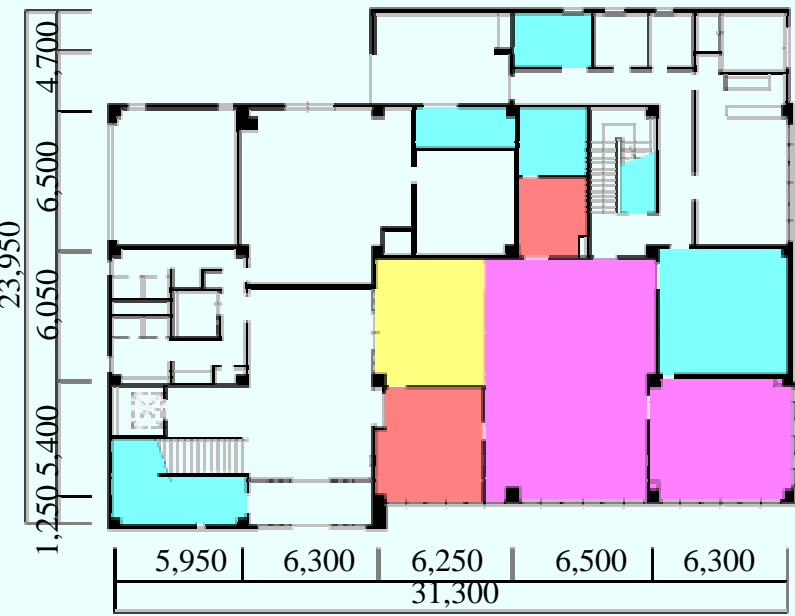
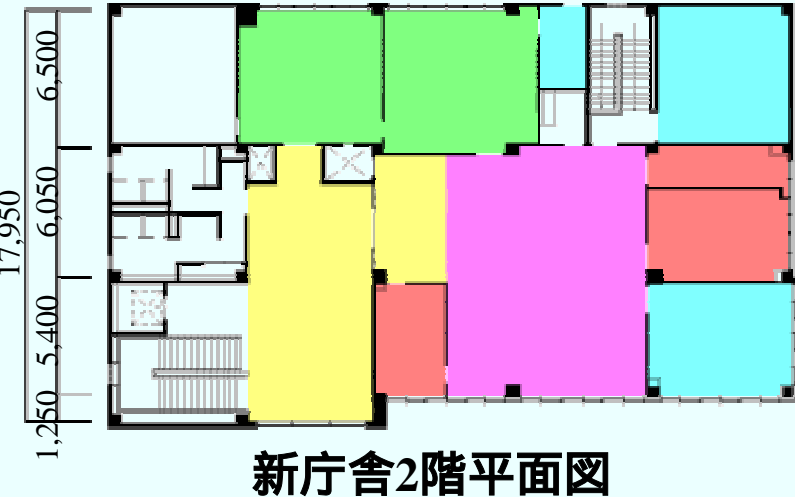
敷地：現地建て替え

庁舎：RC - 2

1,255 m^2

新庁舎（平成14年撮影）

新旧比較平面



- 凡例
- 事務室
1.5倍
 - 固有業務室
新設
 - ホール、
待合い
 - 会議室
2倍
 - 書庫・倉庫
1.9倍

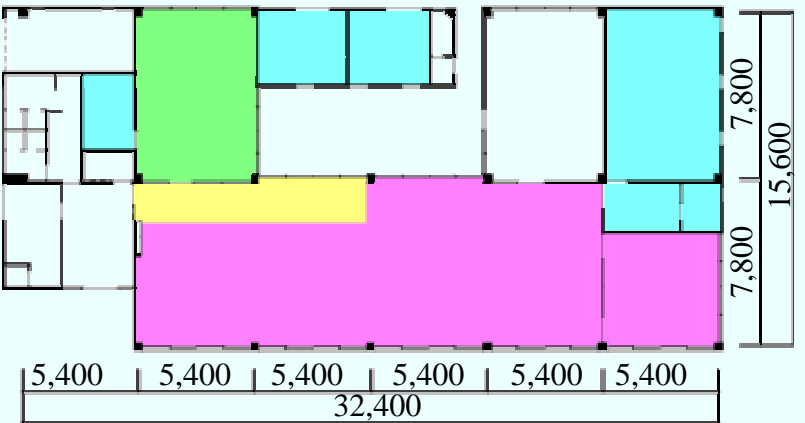
エレベータの設置
等ハートビル対策

OA707-
省エネ型器具
昼光制御等の採用



新庁舎
玄関ホール

新庁舎
1階待合いから事務室を望む



費用対効果の算定手法イメージ

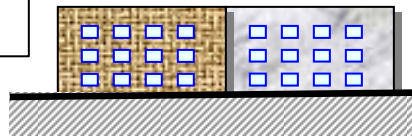
■ 費用対効果

$$B / C =$$

$$\frac{B' + (B_1 - B_0)}{C_1 - C_0}$$

注：既存施設の
C₀相当分の費用
を減ずること(維持
管理費等の二
重計上を避ける

増築・大改修等で
同等水準を確保



B' (=C')

増築・大改修等の費用 + 維持管理費

+

B₁

With case

-

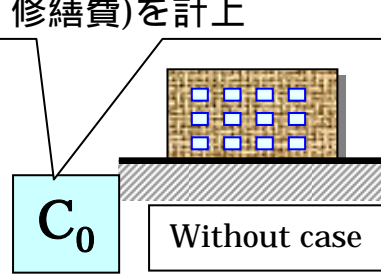
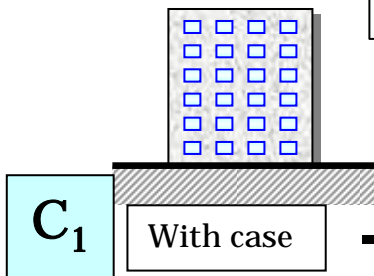
B₀

Without case

同じ性能水準を確保するための
代替案に要する費用

総効果も 原則 による

維持管理費(保全・光熱水費
・修繕費)を計上



C₁

With case

-

C₀

Without case

実施した事業(with case)と、
既存施設現状維持
(最低限の維持管理のみ)(without case)
との比較による 原則

費用対効果

(単位:百万円)

効果 (B)

費用 (C)

費用 (C1 with)

費用 (C0 without)

| | | |
|------------|----------------|-----|
| 利用者の 利便 | 駐車場 | 44 |
| | 建物性能の 向上 | 556 |
| 安全の確保 | 事故・災害 の縮小 | 43 |
| 環境への 配慮 | 地球環境保 全への寄与 | 2 |

代替
効果

B =599

| | | | |
|---------------|------------|-----|-----|
| 初期 費用 | 建設費 | 462 | 507 |
| | 企画・ 設計費 | 33 | |
| | 解体費 | 12 | |
| 維持 修繕 費 | 修繕費 | 107 | 223 |
| | 保全費 | 67 | |
| | 光熱費 | 49 | |
| 計 | | 730 | |

| | | |
|-------------|-----|-----|
| 旧 庁 舎 | 修繕費 | 63 |
| | 保全費 | 24 |
| | 光熱費 | 27 |
| 計 | | 114 |

総効果 (B) 計

645

/

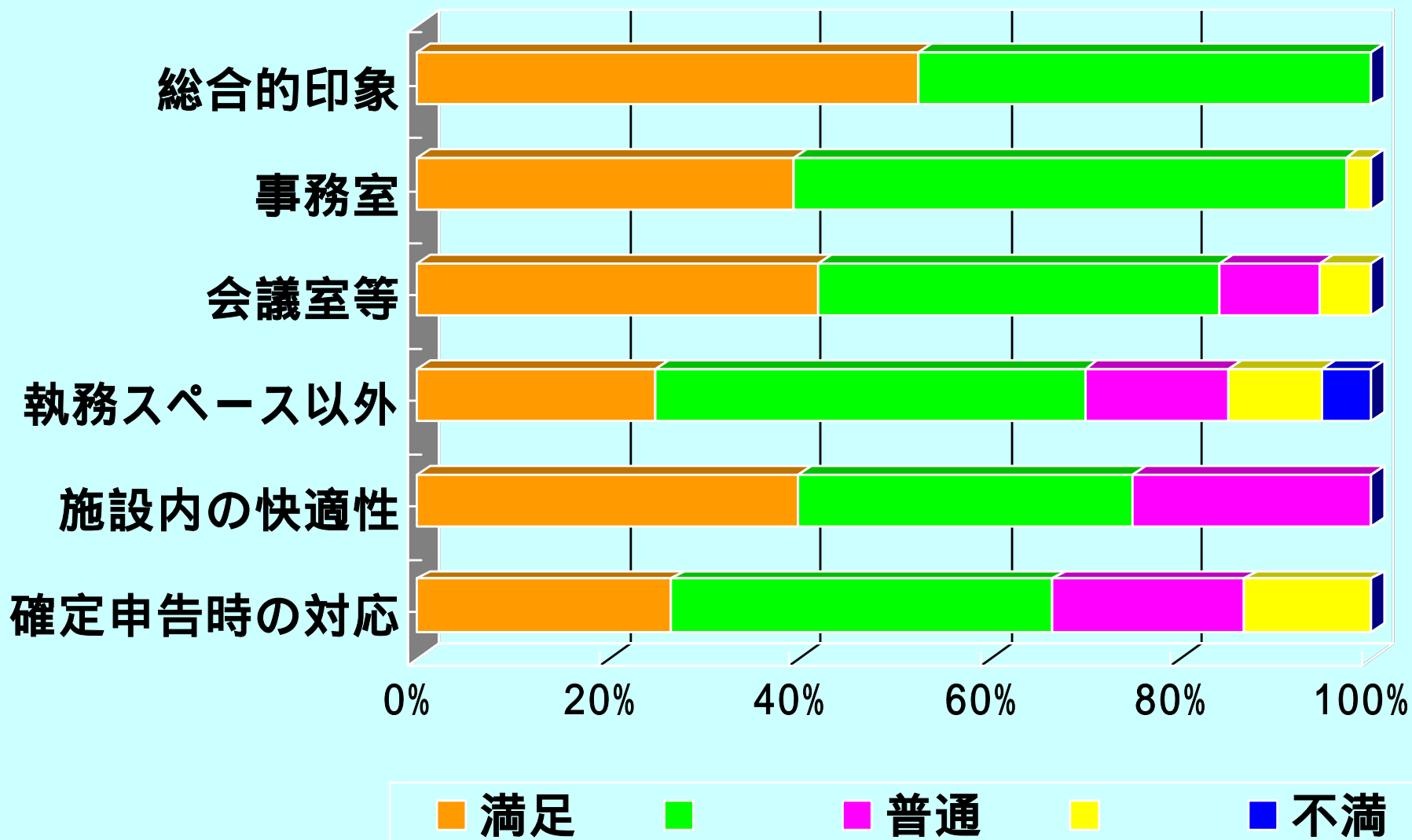
C1with - C0without

616

費用対効果 (B / (C1with - C0without))

1 . 0 5

アンケート結果(職員)

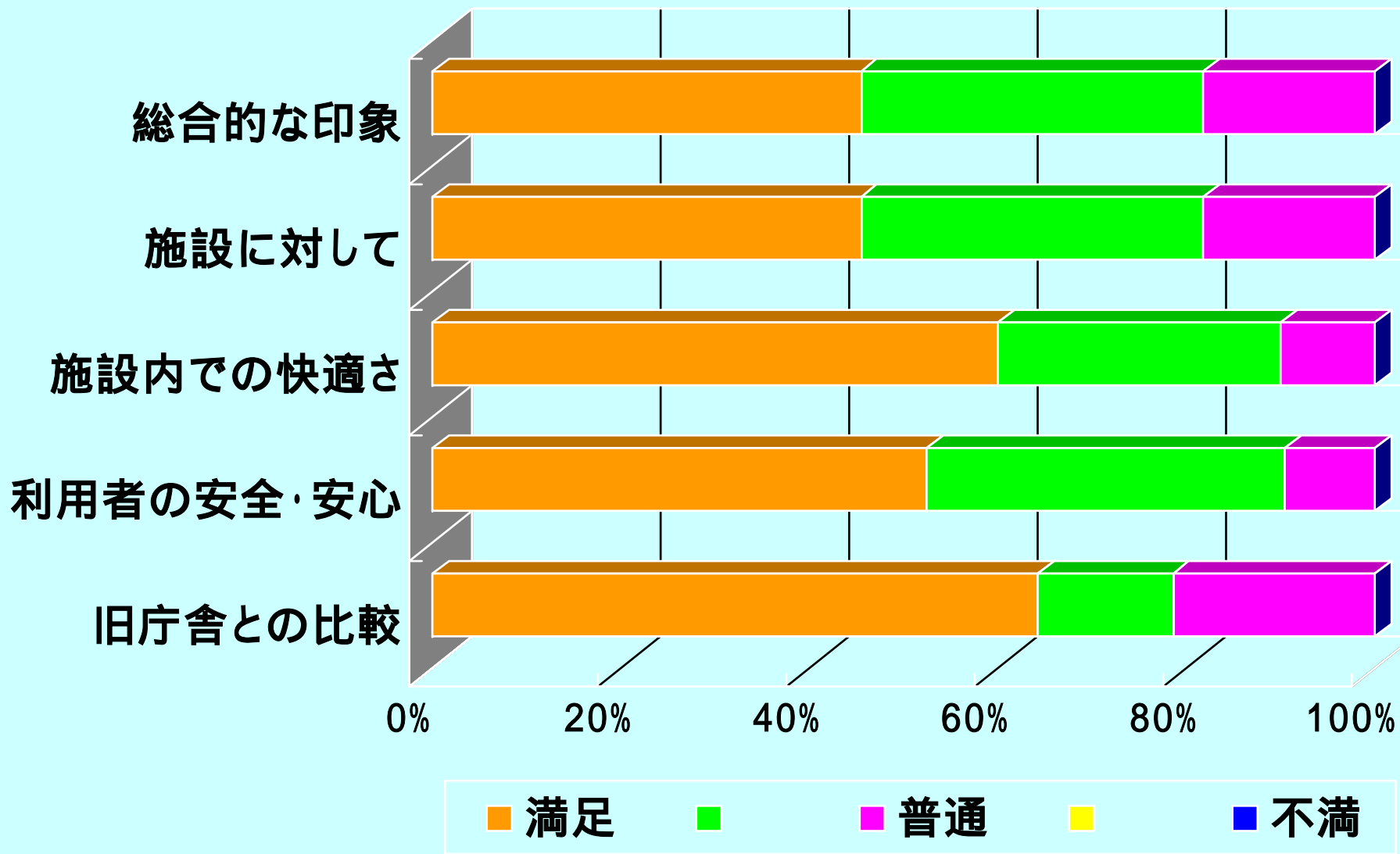


アンケート結果(職員)

| | | | |
|----------------------------|----------|--------|----|
| 旧庁舎と比較して執務環境は | 回答者: 10人 | | |
| 改善された | 5人 | | |
| どちらかといえば改善された | 4人 | | |
| 変わらない | 1人 | | |
| 執務環境が改善された点 <複数選択式> | | | |
| 執務面積 | 5人 | 収納スペース | 2人 |
| 打合せスペース | 2人 | | |

| | | | |
|--------------------------|----|--------|----|
| 各設問に対する個別記入意見(不満) | | | |
| 場所による温度差 | 5人 | 駐車場の台数 | 3人 |
| トイレの照明 | 3人 | | |

アンケート結果(利用者)



アンケート結果(利用者)

旧庁舎に比べ改善された点

回答者:旧庁舎に訪問したことのある方(14人)

| < 複数選択式 > | | | |
|-----------|----|--------|----|
| 屋外空間 | 1人 | 玄関ホール | 7人 |
| 待合スペース | 3人 | 窓口スペース | 4人 |
| トイレ | 4人 | 駐車場 | 4人 |
| 駐輪場 | 1人 | | |

各設問に対する個別記入意見(不満)

| | |
|---------------------|----|
| 案内表示がわかりにくい(敷地外を含め) | 3人 |
| 分煙対策の徹底 | 7人 |
| 駐車場の台数 | 5人 |

評価の内容

事業の効果：

利用者の利便性効果

- ・ 執務室の狭あい解消による手続き事務の改善
- ・ 規模の改善(駐車台数)

業務効率 ・狭あい解消による事務効率の向上

既存庁舎の改修・増築等による整備より、経済性及び利便性の観点で合理的であると判断される。

- ・ 費用対効果 $B / C = 1.05$

完成後の利用者・職員の利便性は、アンケート調査の結果概ね良好である。

事業による環境影響評価：

本事業による環境への影響は少ない。

評価の内容

事業の妥当性:

現在地は位置として問題なく、敷地の規模としても適当な広さであるため、現地建て替えとして計画した。また、業務内容の変更はなく、大きな社会経済情勢等の変化もないと判断される。

今後の事後評価の必要性:

この評価から所期の効果が確認でき、再度の評価は必要ないと考えている。

改善措置の必要性:

この評価から所期の効果が確認でき、改善措置の必要性はないと考えている。